広報 たかのす
発行所
(秋田県)
鷹巣町役場町長室
電話 ㊥550番 直通42番

今月の納税

町民税	第2期	
保険税	鷹巣地区 第4期	
	(8月分)	

町民総参加で成功させましょう

国体につぐ全国大会

町では、全国初の開催場

9人制女子総合バレー選手権大会

昭和三十八年度全日本九人制バレーボール総合女子選手権大会は、八月二十八日から九月一日まで五日間、鷹巣町営バレーボールコートで開かれることになりました。

この大会は町で開かれるのは全国で初めてであり、秋田国体でバレーボール会場となった当町の施設、みなさんの真心こめた協力ぶりが認められて、再び全国大会が開かれることになりました。国体で経験したあの盛り上りを、この大会にもぜひおねがいします。

町ではこの大会を成功させるため準備事務局を設け一日その業務を開始しました。

○事務局長　成田稔(助役)
〃次長　大野米蔵(県保健体育課長)
〃　富樫重次郎(県バレーボール協会長)
〃　成田仁市(助役)
〃　河田太茂蔵(町教育長)
○総務部長　藤島修三(町総務課長)
○競技部長　長崎佐太吉(鷹巣小学校長)

なお、事務局は役場内で電話五〇番です。

大会要項

一、開催期日

八月二十八日～九月一日までの五日間

二、会場

鷹巣町営バレーボールコート(雨天の場合鷹巣農林高校、鷹巣中、坊沢小体育館)

三、参加チーム

北は北海道、南は九州まで、四十余チームが参加する予定。

四、競技規則

昭和三十八年度日本バレーボール協会競技規則(九人制)

五、競技方法

グループ戦ののち、トーナメントとする。(全試合三セット)

六、開会式

八月二十八日午後五時から鷹巣町営バレーコートで行なう。(雨天の場合鷹巣中学校体育館)

七、その他

本大会は一般参観者の入場は無料です。

昭和三十八年産種子申込受付

一、正しい系統の種子で良質米を増産しましょう。あなたの稲作りで次のことにお気付きになりませんか。

1、草丈や穂の長さがどうも揃わない。

2、株毎の穂数がちがい過ぎる。

3、収量があがらないし、品質もよくない。

二、こんな場合は系統の正しい採種は産の種子で更新すれば次のように良くなります。

1、増収する。

2、品質が良くなり検束等級があがる。

三、申込の締切は八月三十日までです。期日におくれないよう早目に各農協へ申込んで下さい。

四、品種

水稲＝トワダ、ヨネシロ、ハツニシキ、さわにしき、チョウカイ、ウゴニシキ、改良信交、農林四一号、ミヨシ、オオトリ、彦太郎モチ、コガネモチ

陸稲＝農林二号、ハタニシキ、ミヤマモチ、農林モチ二〇号

町政の記録 ⑦

7月1日＝酪農研究会総会開催される

7月3日＝七日市保育園開園式　秋田鉄道管理局運輸部長一行来町

7月4日＝成田稔助役　笹原一収入役新任あいさつ　臨時町議会(議長に仲村正氏を選任す)　選挙管理委員会

7月5日＝山形県温海町選管記号式投票事務視察来町　秋田鉄道管理局総務部長踏切廃止協議のため来町

7月6日＝役場職員厚生旅行八幡平へ

7月8日＝建設大臣より町長受彰する　国保運営委員会農業委員選挙告示

7月9日＝坊沢地区に火事あり二家焼失　町広報収集主任者会議

7月11日＝農委選立候補締切

7月12日＝県主催二市三郡の遺族会議開催

7月15日＝農委選挙投票日　即日開票の結果20名決る

7月16日＝栄財産区立木売却入札

7月20日＝民生委員会

7月22日＝例月監査始まる

7月23日＝農委初会議(会長に中林藤蔵氏を選任)　公民館増築工事入札

7月25日＝秋田行政監察局より国庫補助事務関係調査のため来町　鷹巣八幡神社祭典

7月26日＝産業経済委員会

7月29日＝公営住宅工事入札

7月30日＝阿仁合線小ヶ田駅新設陳情書、期成同盟会名で再陳情　消防協会大館北秋支部中央部規律訓練予選(於農林高校)

町民皆様へお願い

昭和三十八年度九人制バレーボール総合女子選手権大会を迎えて

大会事務局長　成田稔

来る八月二十八日から九月一日まで五日間町営バレーコートにおいて、日本バレーボール界最高の権威ある大会である本大会が開催されることになりました。

この大会は高校以上一般社会人まで女子全体を対象として、全国各地からの代表チームによってなされる、名実共に日本バレー界最高の大会でありまして、その規模も国体と変りなく、選手、監督で千百人以上の人数を迎えることになっており、この前、国体に来町した、皆様と顔なじみの選手も沢山来られるようであります。

本大会は、これまで市制施行の地以外の地では開かれたことがなく、おそらく今後も考えられないケースでありますが、特に鷹巣町は選ばれて三十八年度会場となったわけであります。

このことは、町営コートが立派であることもその一つではありますが、何といっても第十六回国体に示された、町民皆様の大会への深い理解と協力が、ひろく日本中から認められ、感謝された結果であり、この度の日本バレーボール協会の決定となったものであります。

どうぞ町民皆様には国体の時と同様の御気構えをもちまして御協力下され、この大会が成功を収め得ますようお願いを申し上げます

出場チーム名

北海道＝室蘭大谷高校
〃　＝北日本毛織
宮城県＝朴沢女子高校
秋田県＝敬愛クラブ
〃　＝秋田商業高校
山形県＝竹田技芸クラブ
福島県＝開成クラブ
茨城県＝日立多賀工場
栃木県＝東洋ナイロン足利
群馬県＝北日本精工株式会社
埼玉県＝東邦レース
東京都＝日清紡本社
〃　＝富国生命
〃　＝明治生命
神奈川県＝明治製菓
〃　＝富士フイルム
〃　＝森永製菓鶴見
新潟県＝第二長岡高校
福井県＝東洋紡績敦賀
長野県＝須坂富士通
岐阜県＝日紡関原
静岡県＝日本専売公社浜松
愛知県＝三菱レイヨン幸田工場
〃　＝岡崎北高校
〃　＝日清紡名古屋
三重県＝四日市高校
京都府＝日本レーヨン京都宇治
〃　＝京都女子教員
大阪府＝丸紅飯田
〃　＝八幡製鉄
〃　＝布施女子クラブ
福岡県＝岩田屋
兵庫県＝電々神戸
〃　＝三菱電機伊丹
滋賀県＝日清紡能登川
和歌山県＝御坊商工高校
奈良県＝奈良白藤クラブ
島取県＝米子西高校
山口県＝帝人岩国
徳島県＝専売徳島
愛媛県＝今治明徳高校
佐賀県＝サロンパス本舗
長崎県＝三菱造船長崎

私のはっげん

おたずね

鷹巣町を市にしていただけないものでしょうか。できるものなら鷹巣市にして頂きたいものだと町民が願っております。　町民代表

おこたえ

市になるについては次の要件を具えていなければならない(地方自治法第八条)

一、人口五万以上を有すること。

二、町の中心の市街地を形成している区域にある戸数が、全戸数の六割以上であること。

三、商工業その他都市的態に従事する者およびその者と同一世帯に属する者の数が、全人口の六割以上であること。

四、その外県の条例で定める都市的施設その他都市としての要件を具えていること。

以上地方自治法に規定されておりまして、県の条例では次の要件が規定されております。

一、税務署、公共職業安定所等の官署又は県の公署が五以上設けられていること。

二、高等学校一以上を有すること。

三、図書館、公会堂又は公園等の文化施設を二以上有すること。

四、上水道、下水道、軌道又はバス事業等の事業も一以上経営しているか又は将来経営し得る見込みがあること。

五、病院又は診療所の衛生施設及び社会厚生施設が完備していること。

六、銀行及び主要の会社の数及びその規模が他の市に比し概ね遜色がないこと。

七、都市計画事業が施行され、主要幹線街路の舗装がある程度整備されていること。

以上が県の条例で定めてある要件です。

当町の場合は、昭和三十五年十月一日の国勢調査人口が二七、二四〇人であるので、第一要件である人口五万人以上有することに該当しないわけです。

その他の要件は市として充分具えておるわけだが、絶対要件である人口の関係で現段階では不可能です。

医師を命ずる　宮腰容子

保健衛生課勤務を命ずる

国保係を命ずる　書記　藤島チヨ

衛生係を命ずる　給仕　簾内武勝

雇を命ずる　七座支所勤務を命ずる

物価指数まとまる

〈四月～七月〉

役場の商工係では昭和三十七年四月から町の消費者物価の動態を調査しておりますが、四月から七月までの動態が次のとおりまとまりました。広報四十五号と対比し参照下さい。

参考までにお知らせ致しますが、全国で人口五万以下の市が相当数ありますがこれは町村合併を促進するため昭和三十二年まで合併した場合、人口三万以上であり、市としての他の要件が具えてあれば市となることができることに、町村合併促進法による特例があったためです。

その当時鷹巣町は昭和三十年四月五カ町村合併で人口一八、八二四人であり、昭和三十一年九月、七日市綴子の両村が編入合併した当時の人口は二七、六六三人であって、町村合併促進法の特例の三万人に及ばなかったので、残念ながら市となることができなかった次第です。

(担当助役　成田仁市)

表彰二つ

(その一)

役場町民課町民係長佐藤敬さんは、八月一日仙台法務局長から戸籍事務の功労で表彰されました。

(その二)

役場税務課試課係成田啓一氏は、このほど開かれた三税事務協議会より税事務の功労により表彰されました。

町辞令

七月三十一日付

医師　戸島信男

綴子診療所の医療業務嘱託を解く

八月一日付

三浦　稔夫

鷹巣町技術吏員に任命する

綴子診療所勤務を命ずる

県民手帳予約募集

昭和三十九年用県民手帳の予約募集中です。

ご希望の方は早目に役場総務課に申込み下さい。

▽堅ろうでスマートなビニール・シート装ていで携帯便利なポケット型

▽豊富な最新の統計資料編

▽充実した名簿篇、生活便覧篇

▽頒価一冊一〇〇円です

鷹巣町消費者物価平均指数 (S30年=100) (4月～7月)

区分	総平均	食料品	主食品	畜産品	野菜	鮮魚介類	塩干物	副食調味	果実類	衣料品	燃料	雑品
4月	125.3	128.2	110.7	111.7	132.8	144.8	140.1	118.4	125.4	119.2	119.5	128.1
5月	129.7	134.3	108.2	111.6	152.7	158.2	139.1	119.2	99.2	123.8	122.9	123.9
6月	124.6	126.0	104.6	116.0	132.5	143.3	135.6	120.9	114.4	123.4	122.8	122.0
7月	121.5	123.4	104.6	119.7	106.6	143.2	131.8	122.4	183.3	115.5	123.0	123.8

助役 教育長 も童心にかえって 子ども会リーダー講習会

鷹巣町社会福祉協議会主催の子ども会リーダー養成講習会は、七日、八日九日の三日間三会場で開かれました。この講習会には成田(総)助役や河田教育長さんも参加し一日童心の思いでたのしい講習会を送りました。

二四八名が受講

七日は坊沢、七座、綴子地区を対象に坊沢小学校、八日は鷹巣、栄地区を対象に鷹巣中学校、九日は七日市、沢口地区が七日市小学校に集り、二四八名が受講した。

参加した子どもさんには「今後子ども会のリーダーとなって、子ども社会の自主的なよい環境づくりを目ざし、活動できるようなプログラムで進められ、そのお、もなものは「したしくなる時間」、「子ども会のあり方」「話し合い」「レクリエーションゲーム指導」「サヨナラパーテー」などが行なわれました。

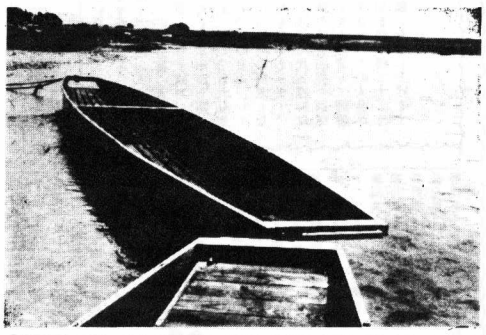
待望の舟出来る

蟹沢、大向地区民喜ぶ

蟹沢、大向地区民が長い間待ちこがれていた自分たちの足が六日完成した。

町では地元財産区の協力を得て鉄舟二舟を共栄鉄工に新造方発注していたが、サビ止めの特殊塗装も完成し、六日蟹沢と大向に配舟した。

舟の長さは十二尺、二舟で新造費は八六万円となっている。



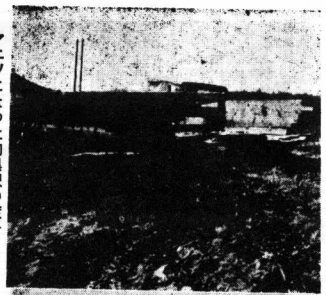
豪雨による被害額まとまる

急ぎ復旧を要するものだけで525万円

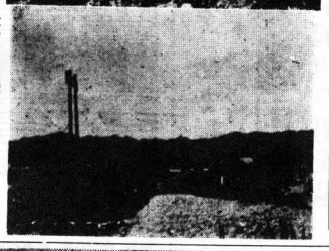
7月25日を中心に発生した豪雨による被害額を農林，土木課で調査しておりましたがこのほどまとまりました。この調書は被害額10万円以上のものだけだがこれ以下を含めますと3千万円以上の被害額が記録されている。

豪雨被害一覧

所在地	地目又は工種数量	数量	被害見込額	被害状況
糖沢地内	田	1,2ha	400,000	土砂流入0,9ha 流失0,3ha
小田地内	堤防	10m	100,000	欠潰
〃	農道及橋梁	12m	500,000	流失
東又地内	用水路	2ヶ所(160m)	300,000	欠潰
坊沢三ッ谷倍	田	2,5ha	1,000,000	土砂流失1,5ha 流失1,0ha
〃	用水路	2ヶ所(280m)	750,000	欠潰
知子内	〃	1ヶ所(10m)	150,000	〃
楢木田	水路	30m	700 000	〃
糖沢黒沢線	渡船	2	1,000,000	流失
大野・尻線	〃	1	350,000	〃
計			5,250,000	



マニツになった向黒沢の渡舟



落下した綴子栖木田橋

八月集合徴収のおしらせ

今月の集合徴収を次の通り実施致しますから納期内完納できるよう協力をお願い致します。今月は町民税第二期分の納期になって居ります（旧市内は保険税の第四期分も納期となっております）

二三日＝門ケ沢　協力員宅
同日＝黒沢　三上兵治宅
同日＝岩谷　佐藤輝雄宅
同日＝二本杉　部落会館
同日＝大沢　協力員宅
二六日＝明り又　橋本宅
同日＝松沢　部落会館
同日＝湯ノ下鈴木其次宅
同日＝上舟木　部落会館
同日＝大畑　畠山久孝宅
同日＝湯ノ倍　協力員宅
同日＝坊山　協力員宅
二七日＝三ノ渡　部落会館
同日＝与助倍　協力員宅
同日＝下舟木　協力員宅
同日＝吉ケ沢佐藤長助宅
同日＝昭和　協力員宅
二七日＝四渡　協力員宅
同日＝小森　部落会館
二八日＝葛黒　部落会館
同日＝深沢　協力員宅
同日＝類　部落会館
同日＝糠沢　部落会館
同日＝中屋敷　畠山仁助宅
二九日＝大畑　部落会館
同日＝大野尻　部落会館
同日＝岩谷　部落会館
同日＝向黒沢　部落会館
同日＝堂ケ倍　部落会館
同日＝川口　部落会館
三〇日＝前山　部落会館
同日＝蟹沢　協力員宅
同日＝高ノ尻　部落会館
同日＝掛泥　部落会館
同日＝小ケ田　部落会館

今月の納期で納税は半分を過ぎる事となり、一期二期と未納の税金は滞納として処理されて整理の対象となりますから未納のある方は一日も早く完納をお願い致します。

第七回鷹巣町米多収穫競作会開催のおしらせ

つぎの要項で第七回の米多収穫競作会を行ないますので、多数参加下さい。

一、水田三反歩以上の耕作農家であること。

二、出品は各農家一点とし原則として県の奨励品種とする。

三、競作田は原則として、一反歩とし、長方形又はこれに近いもので筆数は三枚以内で一ヶ所以上の道路、水路をはさまないこと。

四、検見審査で四石まで達しないと判定した場合は坪刈を行なわない。

五、出品される方は住所氏名、耕作面積、品種名、収穫予定月日を記入して八月十八日までに各農協に申し込んで下さい。

慶弔だより

ご結婚お祝い申し上げます

佐藤国治　佐藤スミ子
藤島広喜　大館市
中島ミチ子　小ケ田
福士文雄　花矢町
神成栄子　小森
藤原ヒサ　小森
神成市郎　七日市
大川長太郎　三ノ渡
福原ハツエ　栄
相馬芳雄　上舟木
三浦イネ子　森吉町
森川富治　阿仁町
相馬マツエ　上舟木
九島完治　岩脇
小笠原チヨ　綴子
桜庭和子　蟹沢
久世友允　愛知県
五十嵐照美　大野尻
成田ヒサ　鷹巣
森本晃　滋賀県
成田泰子　羽立
津谷富男　相馬町
村上イネ　掛泥
佐藤瑞夫　街道町
小井真巳子　和歌山県
木村喜久志　田代町
長崎エミ　大野尻
田中長一　合川町
相馬イマ　糠沢
田村昭一　成田
成田鐘子　二ッ井町
戸沢俊治　前山
相馬慶子　角館町
戸沢民男　前山
桜井和子　合川町
福井県　旭町
清水茂男　成田
成田寿美子　青森県
柳川芳宏　松葉町
三沢泰子　福住町
高橋悦　山形
武二ッ井町　南新町
和田健蔵　阿仁町
伊東リツ　今泉
仲村和夫　福住町
金田則子　太平町
五十嵐照美　成田
大川和三郎　南鷹巣
小笠原初江　花輪町
折原リエ　三吉町
戸沢吉郎　合川町
武石和子　前山
宮野多一郎　下町
雪田キミヨ　青森県
畠山勇　二本杉
宮野上武　横浜市
三沢賢市　大堤
千葉チヤ　中屋敷
大川勝雄　広島県
岸本節子　下町
兜森清　大館市
村上幸子　掛泥
内山貞宏　糠沢
内山洋子　長崎県

農業構造改善シリーズ ④

農業の四つのしくみを変えること

農業はどんなしくみでできているかということを考えてみると、すでにこれまでものべたように、農業は「土地」と、「労働力」と「資本」と、「作目」という四つの骨組みからできています。

つまり、土地に労働力と資本を加えて農産物をつくりだし、それによって収入を得るしごとが農業なのです。

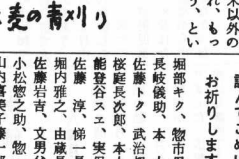
したがって、農業のしくみは、農業による収入が最も多くなるような条件の組み合わさりはどうかということ、これまでのべたように、なかなかうまくいっていません。

土地はせまいのに、かかえている人口は多い。資本装備はおくれている。他に需要のあるものがあるのに米だけの単作農業である。しかも、その狭い土地は使うに不便で、利用率も低い。人は多いのに労力不足だったり、ヒマで仕事のないときもある。機械化はおくれているのに、入れた機械は十分活用されていない。他の作物はよいとわかっても、人手不足だったりしてやれないと矛盾だらけである。

これはなぜかというと、一に農業の基本である骨組みの組合せなりがうまくいっていないからであります。

たとえばどんなに機械化して能率をあげようとしても、いまのような機械に対する一戸当りの経営面積がせまくては、かえって機械貧乏を招くだけでどうにもならないのが当然です。土地改良のうまくいっていないところでも機械化の効果をあげることはできません。これと同じような問題は他の労働や作物の場合でもいろいろあります。

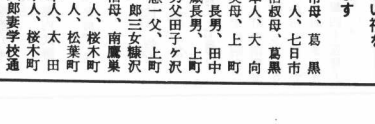
そこで、他産業におくれている農業の発達をはかるためには、こうしたひずみを根本的なしくみの問題を改善しようというのが、いわゆる農業構造改善ということなのです。



①せまい耕地を量的にも質にも広め、また使いよい状態にしましょう。

②少ない質のよい労働力でムリやムダのないしごとができるようにしよう。

③能率の高い機械をいれてその機械をムダなく活用できるようにしよう。



④余った労働力で米以外の農産物をとり入れ、もっと収入をふやそう、ということなのです。

胃の検診を受けよう

あなたの胃は異状ありませんか

長寿をさまたげているものに成人病があります。成人病の一つのガンによる死亡率が年々高くなっておりますが、このガンも早期発見をして治療すれば治るようになりました。あなたの胃を精密検査していただき健康な毎日をおおくりください。

謹んでごめい福をお祈りします

堀部キク、惣市母、葛黒
長岐儀助、本人、七日市
桜庭トク、武治叔母、葛黒
桜庭長次郎、本人、大向
能登谷スエ、実母、上町
佐藤浮、悌一長男、田中
堀内雅之、由蔵長男、上町
佐藤岩吉、文男父田子沢
小松惣之助、惣一父、上町
山内喜奥子藤一郎三女糠沢
佐川トメ、茂治母、南鷹巣
伊藤モヨ、本人、桜木町
工藤貞吉、本人、松葉町
村上三五郎、本人、太田
成田平三郎、本人、桜木町
吉岡タマ、佐武郎妻学校通
三浦現、仁三郎二女、駅前
沢田浅治、本人、前山